

教育振興大会 教育活動に尽力されたかたを表彰

11月15日、市民音楽ホールにて、第9回教育振興大会が開催され、市の教育振興に寄与されたかたや各種大会で活躍されたかたなど75人、9団体が表彰されました。おめでとうございます。



ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



健康維持のため 年1回は健診を 受けましょう

現在、ライフスタイルの変化や少子高齢化の進行とともに、食生活、運動習慣などを原因とする、がんや脳卒中、糖尿病などの生活習慣病が増加しています。これらは、医療費の増加を招くとともに、患者を支える家族の負担増が予測されます。

市では、坂東市健康プラン21を策定し、若い世代からの生活習慣病予防の知識の普及と健康づくりを支援するため、一般健康診査や肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がんなどのがん検診、

肝炎ウイルス・骨粗しょう症検診、口腔機能検査など、多項目にわたる検診を行い、病気の早期発見、治療を勧めています。自己負担金は、みなさんに負担をかけないよう無料〜2000円程度となっていますので、年1回は健康診査を受診し、ご自身の健康管理にお役立てください。

さらに、食生活改善推進協議会の協力による減塩食・がん予防食の普及活動のほか、栄養・運動・生活習慣病予防教室、楽しく歩こう会などを行っています。ぜひご参加いただき、健康維持に心がけましょう。

また、少子化の進行による人口の減少が予測されています。少子化の背景には、核家族化の進行や共働き世帯の増加、ライフスタイルの多様化といった社会環境や価値観の変化とともに就労と子育ての両立の困難などが、出産、子育てを支援する社会環境づくりが求められています。このような状況から、次

世代育成支援行動計画のものとさまざまな育児支援を実施しています。なかでも、産婦人科・産院の診療体制について、坂東市では産婦人科医の不在が続いているため、医師養成奨学金貸付や医療施設開業資金の貸付制度を制定し、将来市内で開業する意思のある人材を募集したところ、熱意のある医学生から応募がありました。月に契約を交わしました。近い将来産婦人科・産科の医療施設ができることを期待しています。

そのほか、小中学校と連携した思春期教育、不妊治療を受けるご夫婦の経済的な負担軽減を図る不妊治療費助成金交付、妊婦健診、妊産婦・乳幼児家庭訪問指導・乳幼児健診・相談、育児サロン、発達支援、予防接種など思春期から妊娠・出産、育児まで幅広く支援を行っています。これからも、誰もが安心して、子どもを生み、楽しく育てていける環境・まちづくりを推進していきます。